

チーム D

- 坂本 陽樹 (佐賀大)
- 清水 彩加 (龍谷大)
- 森本 佳太 (室蘭工業大)

超高齢社会 を考える

- ・60歳以上が3200万人
→内18パーセントが要介護認定

・社会保障の問題

・介護施設の不足

(ワークショップ 電通大)

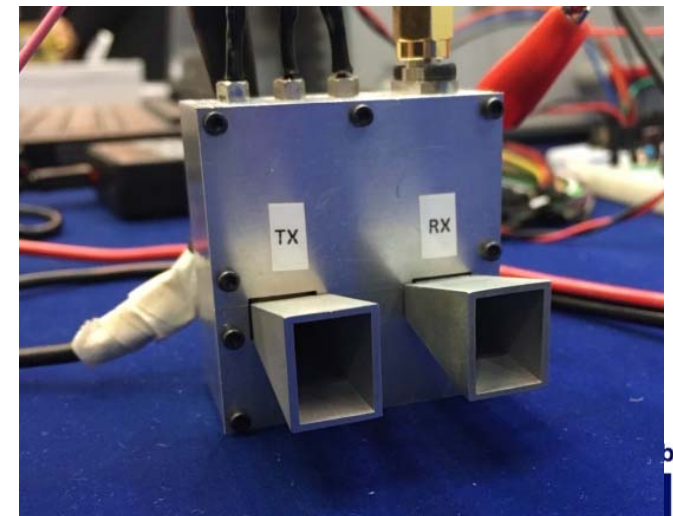
マイクロ波の技術で
支援できないだろうか……？

なるべく在宅で
できるように……

非接触で心拍を検知

- ・生体情報をモニタリング
- ・見守りセンサ

(日本電波工業株式会社)



「孤独死」も防ぐ 医療リング

回路の小型化

着用時の負担軽減

- ▶多層配線、表層・内層に小型抵抗を印刷形成することでLTCC多層基板を実現 (KOA)

無線電力伝送

ワイヤレス給電で

常に携帯可能

- ▶広角レクテナで多方向から受信が可能 (佐賀大など)



血糖値を測定

採血の必要が無い

- ▶血液の誘電率を測定することで透析の時期を判別する
- 研究が進めば、尿酸値などの測定ができる可能性がある (国士館大)

脈拍を測定

- ▶センサーで微小振動を検知 (日本電波工業)

うつ病などを診察

- ▶脈拍から感情を読み取る (東京都市大)

血圧を測定

高血圧など
生活習慣病の診察

高速通信

▶ダイレクトコンバージョン方式により
小面積・低消費電力を実現
(東工大)

心肺停止など
異常検知時の
リアルタイム通信



Emergency

定期的に情報送信

携帯などで
健康状態を把握



診察時間の削減

症例データの蓄積

介護の負担軽減

社会保障費の削減

通院回数の減少

見守られる社会づくり

健康意識の向上

健康状態の視覚化

健康維持

